

推薦基準調書

推薦基準	推薦事由・根拠	関係資料
1 技能・技術が優秀であること	候補者〇〇〇〇は鉄骨、機械据付、仮設等のとび工に係る工事に幅広く携わり、〇〇資格の取得など自己研鑽を積み、永年の職務従事により培った知識・技能を有しており、特に、下記の技能に優れている。 ．．．．．	様式3-2 資料 1
2	①技術開発、施工の合理化を図り顕著な成績を挙げていること ・△△ホテル新築工事において、荒天が続いたことから工期が厳しい状況にあり、また△△ホテル周辺に〇〇があったことから通常の××での施工ができなかった。候補者〇〇〇〇は通常の××に変えて、新工法の〇〇工法による施工を行うことを提案し、また周囲の環境対策のため〇〇に××を取り付けることを提案し、効率性、安全性の向上に貢献した。当該提案は、□□建設株式会社のQCサークル発表会において優秀提案賞を受賞した。 建設機械の設備等の発明・改良、工法の発案・導入・改善、作業上の工夫等候補者が行ったことを具体的に記入してください。詳細や図等は別紙とし、任意の資料番号を付してください。 特に、以下の場合はその旨記載し、証明資料を添付 ・工法の発案等が特許・実用新案登録等されている場合 ・QCサークル入賞等されている場合	資料 2～5
②建設工事に相当の実績があること	大型民間建築工事に数多く従事し、〇〇プロジェクトにおいては、〇〇組職長会会長を務めている。 候補者がこれまでに大規模な工事、著名な工事、難度の高い工事、公共性の高い工事等に従事した場合や特別な役割を果たした工事等について記載してください。	様式3-3 資料 6
3 後進の指導育成に努めていること	・候補者は技能検定補佐委員・技能検定委員として活躍し、その貢献により〇〇県職業能力開発協会より表彰を受けている。 ・候補者は社内の後進に対し、1級技能士の資格のための技能指導を行い、これまでに〇名を合格させた。 ・近年取り組まれるようになった〇〇作業において社内の後進にその作業手順を周知するため作業の標準手順書の作成を行った。 これまでの後進の指導育成に関する実績や、行っている指導育成の具体的な内容等を踏まえて記載してください。	様式3-2 資料 7
4 工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること	(無事故期間 年 ヶ月) 無事故証明の期間と同じ ・候補者は安全・衛生の向上のため、社内で安全〇〇講習の指導に当たるとともに、日頃から〇〇点検を行い事故の防止に努めている。 安全・衛生の向上に関して実際に行っていること等を記載してください。	様式3-2
5 他の建設現場従事者の模範であること	・昭和〇〇年より〇〇市消防団に所属し、活躍している。 建設業との関連の有無を問わず、他の現場従業者の模範となることを示してください。	様式3-2